

○全國幼稚園關係者大會

全國幼稚園關係者大會は左の如き規定のもとに開催せらるゝ筈であります。本會はさきに此の規定書を全國幼稚園に送つて御贊同を求めました處多數の熱心なる御贊同を得、爾後著々として計畫を進めて居ります。出席御希望の方々は必ず五月末日までに御通告を願います。

全國幼稚園關係者大會規定

第一條 本會ハ全國幼稚園關係者ノ會合ヲ催シ幼稚園教育ノ改良上進ヲ圖ルヲ目的トス

第二條 本會ハ全國幼稚園關係者大會ト稱シフレ

ール會之レヲ主催シ大正四年八月三日、

四日、五日ノ三日間東京ニ於テ之レヲ開ク

備考 會場ハ東京女子高等師範學校講堂

ヲ借用スル計畫ナリ

第三條 本會ハ全國ノ幼稚園教育ニ關係アルモノヲ以テ組織ス

第四條 本會ニ於テ舉行スベキ事項ハ議事、講演、實驗談、研究報告等トス

第五條 本會々議ノ議長ハフレール會長之レニ當ル

但會長事故アルトキハ會長ハ其ノ代理者ヲ指名ス

第六條 本會ノ議事ハ普通議事法ニ依ル

第七條 本會ノ趣旨ヲ贊同シ大會ニ出席スル者ハ會費トトシテ一名金五拾錢ヲ出金スヘシ

第八條 大會出席希望者ハ大正四年五月末日マデニ東京女子高等師範學校附屬幼稚園内全國

幼稚園關係者大會準備委員宛其ノ住所、職、氏名ヲ報告スルモノトス

第九條 本會施行細則ハ別ニ之レヲ定ムルモノト

ス

尙ほフレイベル會長中川謙二郎氏より左の通り同
大會の顧問、商議員、特別委員ヲ依囑せられました

顧問

(イロハ順)

文部省普通學務局長 田所 美 治

男爵 辻 新 次

奈良女子高等師範學校長 野 尻 精 一

文部次官 福原 鏝 二郎

商議員

(イロハ順)

東京市保育研究會長 濱 幸 二 郎

神戸頌榮幼稚園長 エー、エル、ハウ

大坂市保育會副會長 大 村 芳 樹

日本女子大學校長 成 瀬 仁 藏

學習院女學部長 松 本 源 太 郎

文部省督學官 横 山 榮 次

文部省督學官 小 泉 又 一

神戸市保育會長 小 磯 吉 人

京都市保育會副會長 小 豆 澤 英 男

高輪幼稚園長 森 村 市 左 衛 門

東京府理事官 元 田 敏 夫

東京市教育課長 守 屋 恒 二 郎

奈良女子高等師範學校
附屬幼稚園主事 森 川 正 雄

東京府女子師範學校長 鈴 木 光 愛

特別委員

(イロハ順)

東京府女子師範學校教諭 飯 沼 し づ

東京市深川尋常小學校長 稻 垣 知 剛

東京女子高等師範學校教諭 井 村 く に

東京女子高等師範學校保姆 池 田 と よ

右 同 芳 賀 晴

右 同 坂 内 ミ ッ

私立帝國幼稚園長 西 山 哲 治

東京市朝海幼稚園保姆 千 葉 ひ で

東京女子高等師範學校訓導 和 田 實

東京市坂本幼稚園保姆 和 田 く ら

私立日本女子大學校
附屬小學校主事 河 野 清 九

私立日本女子大學校
附屬豐明幼稚園主事 甲 賀 ふ じ

私立一ツ橋幼稚園長 多 田 房 之 輔

私立共立幼稚園長 田中ふさ

東京市麴町小學校長 土川五郎

私立開發幼稚園長 長坂頼幸

東京市坂本小學校長 中島行徳

學習院助教 宇佐美敬

學習院教授 野口ゆか

私立早蕨幼稚園長 久留島武彦

東京女子高等師範學校講師 倉橋惣三

東京市四谷幼稚園長 山下つや

東京女子高等師範學校附屬幼稚園主事 安井哲

東京市明治幼稚園保母 福田ふく

私立神田幼稚園長 近藤茂

東京市誠之幼稚園保母 小向喜美

東京女子高等師範學校保母 雨森劔

右 同 坂井ふで

私立東洋幼稚園長 岸邊福雄

東京市常盤小學校長 水野浩

東京府女子師範學校附屬幼稚園主事 日田權一

東京市誠之小學校長 杉浦恂太郎

○フレイベル紀念會

四月二十一日の誕生日を以てするフレイベル紀念會は廣告の通り午後三時半より東京女子高等師範學校附屬幼稚園にて催し下田教授の「フレイベル所感」と題する有益にして趣味多きお話がある筈であります。平日ですから、幼稚園を終つてから御來會の都合のよい様に午後三時半からとしました。おそくも五時には閉會の積り、昨年も極めて盛會でありましたが、本年も多數御來會を希望します。

○東京市保育研究會講習會

東京市保育研究會は其の第一回講習會を麴町小學校に於て開催去月十八日を以て倉橋講師の「兒童心理」(十時間)、赤津講師の「黑板畫實習」(十時間)を終了しました。講習員百數十名盛會でありました。

○教育に應用すべき童話の範圍を

擴張すべし

桑田 文學士

從來に於ては、童話は其の他の神話とか傳説とかの如く、古代文明民族のそれが主となつて居た。或はそれ等から發展した文學的童話が主として學者の研究を促し、且其の材料は教育に應用せられて居た。併し今日に於ては、未開人の研究が盛にして、其の童話の如き非常に澤山の材料がある。而も是等の童話はクラシカルな童話の源泉にして、更に幼稚な精神作用から出來て居る形式である。従つて幼稚な兒童に取りては却て適合し、興味ある材料である。

元來兒童の精神は未開人のそれと非常によく似て居る。童話に關係した方向から見ても、想像の盛なこと、殊に擬人想像の著しいこと、聯合的結合から漸次統一的のそれに進むこと、感情的なること、更に進んでは、無道德的（道德意識發生以前の情態にして、道德に對する不道德の意味でない）から漸次道德意識に向ひ、科學的思考法を缺如し、呪の現象を信じ若くは喜ぶこと等の精神的性質は、彼我共通の現象である。此の點に於て原始時代の童話の研究が、一般の童話研究殊に教育家に閑却せられて居るは非常に遺憾である。

併しながら、未開人の童話を兒童教育に應用するに當りて、注意を要することがある。それは未開人の童話に現れたる内容が、全然現今の兒童の精神に適合するとは云はれない。未開人は已に

成人である、社會的色慾的宗教的生活に於て遙に進入して居る。自分で生活し、且色慾的慾望を満足することは、周圍の保護に依存し、性的關係に觸れない兒童とは大に異つて居る。且未開人は全體が未開の空氣の内にあるのに反して、兒童は外界の文明の空氣の中に生れ、育つのである。この點からして、兩者の精神生活の間に差別を生じて來る。従つて、未開人の童話そのまゝを今日の兒童に適用し難いことがある。例へば性的關係、文化現象由來の説明、靈魂表象の意匠等の如き、兒童にとりては、不可解であるか、或は興味を起さないかも知れぬ。かういふ様な兒童の精神生活に發達しない意匠は、不向きであると共に、原始文明特有の材料も除かれねばならぬ。多くの原始文明は其の痕跡を文明時代迄殘して居るものであるが、さなく單に原始時代にのみあつた事物とがいふものは、特殊の知識を俟つて初めて分明するので、兒童には不可解である。是等の事柄は取り除かれるか、又は文明の產物と取り換へられねばならぬ。かくの如き注意を拂へば、原始的童話は單に學術上の興味がある許りでなく、實際の教育上の材料を豊富にするであらう。（『心理研究』第四十號より）